

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

都市建設課

件名	2022年アジア都市景観賞受賞 「肥前浜宿の歴史的町並みを守るまちづくり」報告会について
アピールポイント	アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、国連ハビタット福岡本部、アジア人間居住環境協会、アジア景観デザイン学会、福岡アジア都市研究所の4団体によって、2010年に創設された景観に関する国際賞「アジア都市景観賞」を、NPO法人肥前浜宿水とまちなみの会、佐賀大学教授三島伸雄氏、鹿島市が今年度受賞し、報告会が下記日程にて行われます。
説明	1 日時 令和5年(2023年)1月6日(金曜日)10時30分～ 2 場所 鹿島市役所 3階 庁議室(鹿島市大字納富分2643-1) 3 出席者 NPO法人肥前浜宿水とまちなみの会、 佐賀大学教授三島伸雄氏、鹿島市長 アジアの優れた景観をアピールし、また、発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し、表彰するもの。今年で13回目を迎えた。 ○本年度受賞案件 11件(エントリー総数 (5か国)全27件) うち、日本国内受賞案件 2件 海外授賞案件 9件 ○第1回～第13回(今回)の受賞案件数は累計で16か国・116都市・地域158件。うち、国内累計は42件。
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	建設環境部都市建設課
氏名	岡 秀和
TEL	0954-63-3415
FAX	0954-63-2313
Mail	toshi@city.saga-kashima.lg.jp

【ニュースリリース用参考資料】 《2022年アジア都市景観賞受賞について》

○本年度受賞案件 全11件

※エントリー総数 全27件 (5か国)

○日本国内受賞案件 2件

鹿島市 (佐賀県) 肥前浜宿の歴史的町並みを守るまちづくり
北九州市 (福岡県) ~百年目のニュータウン~
桜咲き 緑あふれる 高見三条の街並み継承の取り組み

○海外授賞案件 9件

韓国: 3件、中国: 4件、タイ: 1件、ベトナム: 1件

○第1回～第13回の受賞案件数は累計で「16か国、116都市・地域、158件」

《ご参考》

◎ 主催団体の概要

● 国連ハビタット福岡本部

国連ハビタットは都市化と居住の問題に取り組む国連機関であり、その使命は政策提言、能力開発、国際・地域・国家・地方といったレベルでのパートナーシップ構築を通して、社会的、環境的に持続可能なまちや都市づくりを促進することである。各国政府・地方自治体・NGO・民間のほか、他の国連機関とともに活動を行っており、人間居住に関する関心を高めるなどの情報提供活動を行っている。福岡本部は、地域レベルでの事業活動強化と本部機能の分散化を図るため「アジア太平洋地域事務所」として平成9年8月開設。

● アジアハビタット協会

環境や生態系、歴史的文化遺産と調和した都市開発の重要性について関心と認識を高めるため、平成16年2月に香港で設立された学術団体。アジア各国と地域の人間居住環境領域の専門家が発足し、自主性を重んじる非政府系の学術団体として、人間居住環境建設領域の国際協力及びアジアの地域間協力を大いに力を注ぎ、アジア各国の人間居住環境科学の理論研究と実践活動を支援している。

● 福岡アジア都市研究所

福岡市や市民・産業界・学会などの協力と連携のもとに都市政策を研究し、アジアの視点を取り入れながら、将来の都市戦略を提言する研究機関。「財団法人福岡都市科学研究所 (昭和63年設立)」と「財団法人アジア太平洋センター (平成4年設立)」を統合し平成16年発足。

● アジア景観デザイン学会

景観材料に係わる企業を中心に平成9年から開催してきた「九州景観材料研究会」を母体とし、大学、経済産業省、国土交通省、福岡県、福岡市、北九州市と景観に関わる企業が一体となって、アジアにおける景観の諸課題に取り組む国際学会として平成16年発足。

◎ アジア都市景観賞について

1. 概要

アジア都市景観賞は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、国連ハビタット

福岡本部、アジア人間居住環境協会、アジア景観デザイン学会、そして福岡アジア都市研究所の4団体によって、2010年に創設された景観に関する国際賞。アジアの優れた景観をアピールし、また、発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し、表彰するもの。今年で13回目を迎えた。

2. アジア都市景観賞のねらい

- ・貴重な伝統・文化・習慣・歴史的意義の深い建造物や街並み、空間をアジア共通の資産として保全し、次の世代へ継承していくこと。
- ・各都市における美しい都市景観づくりの政策・計画・事業や活動から相互に学ぶ交流の機会を創出すること。
- ・それに係る関係者（行政や企業）、市民の努力を認知し、一層の当事者意識の形成や啓発に寄与すること。

3. 評価基準

- ・地球環境に優しく、共存するものであるか
- ・安全で利用者に優しく、持続性があるか
- ・地域の文化、歴史を尊重しているか
- ・芸術性が高いか
- ・地域の発展に貢献し、他都市の模範となるか

4. 選考委員

国連ハビタット福岡本部	本部長代理 本部長補佐官 調整官	Bruno Dercon 星野 幸代 石長 史康
アジアハビタット協会	主席 秘書長	劉 興達 肖 溪
アジア景観デザイン学会	名誉会長 会長	佐藤 優 坂井 猛
福岡アジア都市研究所	副理事長 常務理事	鈴木 順也 松熊 功
佐賀大学教授、都市計画学会九州支部幹事		有馬 隆文
韓国釜山大学校工科大学教授		禹 申九
韓国西京大学校教授		金 俊榮
韓国建築都市空間研究院リサーチフェロー		沈 慇美
中国浙江建築科学設計研究院 チーフプランナー		陳 安華
九州大学人間環境学研究院 都市・建築学部門准教授		プラサンナ ディビガルビティヤ

5. 2010年～2021年 アジア都市景観賞 受賞案件リスト（日本国内分）

◇2010年アジア都市景観賞（第1回）

テーマ「グリーンアジア・美しい都市」

6か国・地域11案件（日本3、中国4、韓国1、シンガポール1、香港1、マカオ1）

日本の受賞案件

札幌市 「モエレ沼公園」

福岡市 「シーサイドももち整備事業（海浜公園）」

熊本県小国町 「黒川温泉地区景観づくり事業」

◇2011 年アジア都市景観賞（第 2 回）

テーマ「人間環境と都市復興」

4 か国 10 案件（日本 4、中国 3、韓国 2、タイ 1）

日本の受賞案件

広島市 「原爆による廃墟からの都市復興」

熊本市 「熊本城復元整備とまちづくり」

神戸市 「ガーデンシティ舞多間みついでプロジェクト」

福岡市 「福岡市都市景観賞」

◇2012 年アジア都市景観賞（第 3 回）

テーマ「住みよいまち、豊かな生活」

4 か国・地域 9 案件（日本 2、中国 3、韓国 3、香港 1）

日本の受賞案件

倉敷市 「倉敷美観地区」

鹿児島市 「鹿児島市の市電軌道緑化整備事業」

◇2013 年アジア都市景観賞（第 4 回）

テーマ「都市の誇りを育む景観」

5 か国 11 案件（日本 3、中国 3、韓国 2、インドネシア 1、ベトナム 2）

日本の受賞案件

長崎市 「出島復元整備事業とまちづくり」

松江市 「縁雫（えにしずく）による雨の日の松江プロジェクト」

北九州市・下関市 「関門海峡が結ぶ景観に配慮したまちづくり」

◇2014 年アジア都市景観賞（第 5 回）

テーマ「未来へ幸せをつなぐ景観」

6 か国 12 案件（日本 4、中国 3、韓国 2、ネパール 1、バングラデシュ 1、スリランカ 1）

日本の受賞案件

岩手県 「東日本大震災からの復興の象徴『三陸鉄道』」

姫路市 「保存修理を通じて次世代に継承する人類の文化遺産姫路城とまちづくり」

福岡市 「博多駅を中心とした連携整備プロジェクト」

竹田市 「竹田地区街なみ環境整備事業 ～歴史的風致を活かした景観まちづくり～」

◇2015 年アジア都市景観賞（第 6 回）

5 か国 11 案件（日本 3、中国 3、韓国 2、ベトナム 2、スリランカ 1）

日本の受賞案件

南魚沼市 「三国街道塩沢宿『牧之通り』」

萩市 「『萩まちじゅう博物館構想』による萩のまちづくり」

福岡県 「筑後地域の景観形成」

◇2016年アジア都市景観賞（第7回）

7か国 15 案件（日本 4、中国 4、韓国 3、ミャンマー1、ベトナム 1、バングラデシュ 1、パキスタン 1）

日本の受賞案件

- 松山市 「日本最古の道後温泉を舞台にした景観整備と最先端アートのまちづくり」
- 東川町 「東川町立東川小学校・地域交流センターを核とした地域環境整備」
- 小松市 「小松駅周辺整備事業 ～こまつの杜、サイエンスヒルズこまつ～」
- 玖珠町 「玖珠町森地区街なみ環境整備事業」

◇2017年アジア都市景観賞（第8回）

6か国 15 案件（日本 4、中国 4、韓国 3、インド 2、ベトナム 1、インドネシア 1）

日本の受賞案件

- 柏市 「柏の葉国際キャンパスタウン・プロジェクト」
- 草津町 「湯けむりのゆらぎを世界に発信するまちづくり」
- 十津川村 「大水害を契機とした十津川村の『新たな集落づくり』への取り組み」
- 豊後高田市 「昭和 30 年代の懐かしさと温かさが交差するまちづくり～豊後高田昭和の町～」

◇2018年アジア都市景観賞（第9回）

6か国 15 案件（日本 4、中国 4、韓国 4、ベトナム 1、アフガニスタン 1、フィリピン 1）

日本の受賞案件

- 香川県 「瀬戸内国際芸術祭」
- 福岡市 「福岡アイランドシティ照葉のまちづくり」
- 女川町 「東日本大震災からの復興事業『海を眺めて暮らす女川のまちづくり』」
- 松山市 「松山城の自然・歴史と俳句文化が融合した現代の城下町」

◇2019年アジア都市景観賞（第10回）

7か国 14 案件（日本 3、韓国 3、中国 4、インド 1、インドネシア 1、マレーシア 1、バングラデシュ 1）

日本の受賞案件

- 帯広市 「『帯広の森』による都市と農村の交流エリアづくり」
- 内子町 「街並み保存から村並保存、そして山並み保存へ」～持続的に発展する内子のまちづくり～」
- 田川市 「産業遺産を活かしたまちづくり」～炭坑節のふるさと・田川市～」

◇2020年アジア都市景観賞（第11回）

5か国 13 案件（日本 3、韓国 4、中国 3、タイ 1、ネパール 1、マレーシア 1）

日本の受賞案件

- 長崎市 環長崎港地域アーバンデザインシステムによるまちづくり
- 三島市 「水の都・三島」の環境資源を地域協働で再生して「水と緑の湧水網都市」創造事業”
- 大分市 線路敷ボードウォーク広場（大分歴史回廊）

◇2021年アジア都市景観賞（第12回）

4か国 11 案件（日本 3、韓国 4、中国 3、インドネシア 1）

日本の受賞案件

入間市（埼玉県）

JOHNSON TOWN の再生・まちづくり

豊田市（愛知県）

鞍ヶ池公園ミライプロジェクト

都城市（宮崎県）

都城市中心市街地中核施設整備支援事業